

高槻市立 芝谷 中学校区運営協議会 会議録

令和7年6月20日作成

会議の名称	令和7年度 高槻市立芝谷中学校区 第1回学校運営協議会		
会議の開催日時	令和7年6月20日 (金) 18:30~20:00		
会議の開催場所	高槻市立日吉台小学校 多目的室	公開の可否	可
担当課	教育指導課・地域教育青少年課	傍聴者数	2人
非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む)の場合)	「会議の公開に関する要綱・傍聴要綱について」の承認がなされるまで非公開とした。		
出席委員	相見育子、一柳康人、小幡克也、俊栄子、松井美奈子、 三上モアナ、安盛啓史、矢野喜代子		
事務局出席者	高谷陽子、山川裕生子、大野圭司、堀晶恵 津地美香、三浦健人、八木大輔 藤井りか 小杉俊悟、中村哲也、富樫洋平、上垣雅史 横道敏一、柳翔太、小西耕平、山口毅 前野誠子、朝田博之、樋口由佳 續木孝弘、引山大士、西森彩、 西木美涼、正木功一、田中孝弘		
会議の議題	1 開会あいさつ、委員の紹介、事務局紹介 2 会長、副会長の選出について 3 地域学校協働活動推進員の委嘱について 4 会議の公開に関する要綱・傍聴要綱について		

	<p>5 学校運営協議会について</p> <p>6 「令和7年度 芝谷中学校区グランドデザイン」について</p> <p>7 その他</p>
配付資料	<p>資料1 令和7年度 芝谷中学校区学校運営協議会委員名簿</p> <p>資料2 高槻市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則</p> <p>資料3 高槻市地域学校協働活動推進員の委嘱等に関する要綱</p> <p>資料4 芝谷中学校区学校運営協議会の会議の公開に関する要綱</p> <p>資料5 芝谷中学校区学校運営協議会傍聴要領</p> <p>資料6 令和7年度 芝谷中学校区グランドデザイン</p>
審議等の内容	議題の通り

(別紙)

高槻市立芝谷中学校区運営協議会 会議録

1. 開会	<p>◇司会より開会挨拶</p> <p>◇事務局挨拶</p> <p>◇委員の自己紹介</p>
2. 議題	<p>◇会長、副会長の選出</p> <p>◇会議案1</p> <p>◇議事次第3及び第4について、事務局より説明。</p> <p>挙手により、上記3. 4議案を可決。</p> <p>傍聴者数を確認し、傍聴を許可。</p>

◇議事次第5及び第6について、事務局より説明。

芝谷中学校区と第九中学校区は同じ子ども像を掲げる。

「教育目標と重点取組」

1 「連携型小中一貫教育の推進」について

年2回の校区職員研修の実施

中学校教員による小学校での授業

LSP各部会で、中学校区内での連携

2 「子どもたちの社会参画力の育成」について

学級活動のプロセス、探究活動

地域人財について

◇質疑応答

委員より

- ・ 自分子どもたちが9年間を通して一貫性のある関わりについて。
- ・ 学校もどのように保護者が楽しく関わっていけるか。
- ・ HPなども活用していけばよいのではないか。
- ・ 小学校から中学校への進学時に環境が変わることについて。
- ・ 今の授業、特別活動、算数や国語などの授業改善はどのような状況であるか。

事務局より

→小中のつながり 年2回の情報交換をしている。

授業改善では、総合的な学習の時間を活用、自分たちで問題を解決した力が、他にもつながっている。

委員より

- ・個が強くなっているように感じる。連携が難しい。学校はどのような活動をしていきたいと考えているか。
- ・地域の活動（大人が活動しているのを見学しているだけではなく）参加についてどのような考えを持っているのか。
- ・中学校と小学校の教員が一部の教科で互いに授業をしているということだが、他の教科にも広げてほしい。

事務局より

・福祉、コミュニティと連携しながら人とつながっている。そこから学校とつながりが蜘蛛の巣状につながっている

・保護者の参画→参観が参画となっている。保護者がその場で質問するので、授業づくりになっている。

・自分のできることで参加するのが参画。地域全体で、机の上だけでない教育をしていきたい。

・中学校と小学校の間で、体育以外の教科で授業交流となると時間的なものもあり、難しい。

・特別活動部について、3つの力を育成することに力を入れている。

・子どもにいろいろな力をつけるため、地域が連携していきたい。具体的なプランニングはこれからになる部分もある。

・親同士のつながり、CSの委員からいろんな意見を聞きたい。

委員より

・去年も学校と関わっていたが、学校から協力してと発信したら、協力したいと感じる保護者はもっといると思う。

・私だったらこんな風にしたい、どうしたら地域も笑顔になるかなどを考えて、学校とつながっていきたい。

・企業や地域の人が学校に来るメリット、デメリットを考える。

・知らない子どもと関わるのが好き。

・企業に勤めている立場からだと、企業が学校に目をむけなければ、暗くなっていく。

事務局より

・グランドデザイン②にもあるように、本物の人と出会いたい。学校側も発信していきたい。人財をどう活用していくか。

委員より

・特活：子どもが自分ごとができる。なりたい自分になれる。グランドデザインから、接続（学校と学校）、なぜその活動を行うのかという目的が大事。「やりっぱなし」に陥らないためにも、指標を作ったらやってよかったと思えてくるのでは。

事務局より

・芝谷中学校区での研修を充実させていく。グランドデザインをもとに、秋に評価をしていく。研修軸が子どもの成長に関わっているのかということが大切であり、今日いただいたご意見を今後の参考にさせていただく。

議題6 グランドデザインについて→原案通り承認

委員より

・学校からの発行物で、愛情をもった文章を読んだ。子ども同士、子どもと地

	<p>域など、色んなものをつなげて、グランドデザインのように理想の子ども像を目指していきたい。地域の方々と連携して充実させていきたい。</p>
--	---